学校番号	３０９

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	情報の科学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　高等学校　情報の科学（数研出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次に身につけた基礎的な活用能力を基に、社会で活躍できる応用能力を身につけることを目標にしましょう。
・演習や発表等を通じて、他者の多様な考え方を学び、自分の考え・意見を持ちましょう。

２　学習の到達目標

・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができる。
・高度情報化社会が及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任などの情報モラルをしっかりと理解したうえで、情報化社会に積極的に参加することができる。
・コンピュータの仕組みや情報のディジタル化の基本的な原理をしっかりと理解し、適切に情報を活用できる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え、行動しようとする態度	・さまざまな事象を情報とその結びつきから考える力 ・情報複数の情報を結び付けて新たな意味を見出す力	情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身につけ、目的に応じて、情報技術を適切に扱っている。 ・	・情報社会がもたらす影響、モラルやマナーの意義と個人が果たす役割や責任についての理解 ・情報技術を適切に利用するための知識
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品発表 相互・自己評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品発表 相互・自己評価等 定期考査の結果	学習状況の観察 実技テスト 実習作品発表 相互・自己評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 定期考査の結果 レポート作成等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	コンピュータとディジタル情報	○ディジタルとアナログ ○コンピュータの仕組み ○情報のディジタル表現 ○ワープロソフトによるレポート作成	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:コンピュータの仕組みに興味を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている b:情報をディジタル化することの利点や問題点について考えることができる c:情報機器を用いて情報をディジタル化することができる d:コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組み、またディジタル化の利点について理解する	授業観察 実習課題 レポート課題 定期考査
2	情報通信ネットワーク 問題解決とコンピュータ	○コミュニケーション手段の発達 ○WWW のしくみとメール ○データベース ○問題解決のプロセス	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:コミュニケーション手段の発達に興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている b:メールの送受信により、コミュニケーションを適切に行うことができる c:表計算ソフトを用いてデータの処理やデータベースの作成ができる d:インターネット、表計算ソフトを用いて、問題解決を行うことができる	授業観察 実習課題 レポート課題 定期考査
3	情報社会と情報モラル	○情報化社会の問題点 ○情報セキュリティの確保 ○情報社会における法と個人の責任	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a:情報セキュリティの仕組みに関心を持ち、情報通信ネットワークを安全に活用しようとしている b:情報社会における法と個人の責任を学ぶことにより、情報化社会の及ぼす影響について考える c:効果的な情報収集 SNS などへの情報発信を適切に行うことができる d:著作権法、個人情報保護法等、法律についてきちんと理解し、社会に参画できる態度を身につける	授業観察 実習課題 レポート課題 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。